

発言No. 7

受付No. 13

平成26年8月26日

10時23分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 9 番 氏名 飛野 弘二

答弁を求める者
(○をつける)

○市長 教育委員会委員長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 人口減少問題について

(1) 少子化対策への取組について

今、やっと人口対策の議論が活発化してきている。全国知事会議で人口減少や少子化は「死に至る病」とし「少子化非常事態宣言」を採択した。来年度の予算編成に向け地域の政策要望を取りまとめる。日本の少子化対策のスタートラインにする。地域を活性化することは、すなわち少子化対策であると結論づけている。

また、日本創生会議が発表した中に、30年後若年女性推計人口で「このまま放置していれば半減する」とある。

また、内閣府の調査によると都市部の住民の3割は病院や仕事があれば田舎に住みたい。これは、グリーンツーリズムが普及するなど関心の高まりにある。年齢別では20代38.7% 60代33.7%となっている。

- ① これを受け県内各市町村が一斉に議論を起こしていると思うが、浜田市における人口減少問題対策の現状と方針を伺う。
- ② 定住対策に於いて戦略的に若者（特に女性）を呼び込む必要があると思うが3都市と広島をターゲットとした「人材誘致コーディネーター」（しまね暮らし推進課が施策中）を配置するつもりはないのか考えを伺う。
- ③ 典子さま・国麿さんの挙式を目前に控え島根は勿論全国から「島根」と「縁結びの神」が脚光を浴びている。いまこそ浜田市もあやかりたいところである。今、婚活に於いて「出会いから育児まで支援」タイプが注目を浴びている。そもそも行政は出生以降の支援や施策が多かったが、もはや少子化対策の強化を図るため予算組みも含め大幅に改善されると心得ているが、浜田市における現況と方針を伺う。
- ④ 部署を「縁結び婚活課」に改め、人口減少問題を重要施策にするという観点からロードマップに追加計上し、強力な取り組みを期待するが考えを伺う。

2 中山間地域の課題について

(1) 鳥獣被害防止事業について

今、鳥獣による農作物の被害は増大している。各自最大限の被害防止策をしているが個人では不可抗力的な要素も多く毎日のように被害者の悲鳴を聞く。鳥根県も中国 5 県で初めて鳥獣被害対策専門員を採用して外来種が増える等複雑化に対応することを発表した。浜田市に於いても担当部署は連日被害状況把握と対応に追われている。予想を上回る出没状況である。行政の支援事業で一定量被害防止効果が出ているが追いつかない状況である。

- ① 国の事業である「鳥獣被害防止総合対策事業」の申込状況を伺う。
- ② 浜田市の事業である「獣被害防止対策事業、農業生産力等向上支援事業」の申込状況を伺う。
- ③ 鳥獣保護法の一部改正で、「夜間の銃使用解禁」と「わな猟免許の取得年齢引き下げ」となったが、浜田市での改正の効果を伺う。
- ④ 三隅自治区の小中学校で市猟友会が無償提供したイノシシ肉のミートボール 500 食が給食に登場した。小学校の栄養教諭が考案しレシピも作成されたもので、食べた感想も良かったと新聞報道されたが、今後ともこのレシピ活用の予定を伺う。

(2) 人口予測（現行推移モデル）について

2009年	927人	
2014年	818人	5年後
2019年	687人	10年後
2029年	602人	20年後
2044年	236人	35年後

- ① 移住者等定住対策を継続することにより人口維持の努力が必要と思うがこの中山間地域の現状に対する感想を伺う。